

地域安全マップ (防犯) の目的

子どもたちが不審者等による犯罪から身を守る知識や危険な場所を見極める力を養う

危険予測能力

犯罪が発生しそうな
危険な場所

危険回避能力

犯罪に遭いにくい
安全な場所

フィールドワーク

話し合い

地図



犯罪の機会を防ぐ3つの要素

1. 抵抗性

犯罪者から加わる力を押し返す力

2. 領域性

犯罪の力が及ばない範囲が明確

3. 監視性

犯罪者の行動が把握できる



- 自転車に鍵がかかっていると目的を達成できない **(抵抗性)**
- フェンスで仕切られ、整然とした駐輪場に入りにくい **(領域性)**
- 監視カメラがあると犯行を思いとどまる **(監視性)**

危険な場所

キーワード

誰もが
入りやすい
(領域性 低)

+

誰からも
見えにくい
(監視性 低)

=

危険

- 入るのに邪魔になるものがない
- 境界がはっきりしていない
- 出入口 (逃げ道) が多い

- 見るのに邪魔になるものがある
- うす暗い
- 周りに家がない
- 人が多すぎる

地域安全マップで期待される効果

どんな条件の場所が
危険かを
理解できる

危険予測能力
危険回避能力
向上

友だち同士，地域の
大人とのコミュニケーションが
深まる

コミュニ
ケーション
能力向上

地域の大人と
の結びつきが
強くなる

地域の
防犯意識
向上

子どもたち
の非行防止

地域に愛着を
持ち，地域社会
の安全に貢献

「犯罪マップ」や 「不審者（情報）出沒マップ」とは違う

地域安全 マップ

目的

子どもたちが犯罪に遭わないように、身を守る知識や危険な場所を見極める力を養う

不審者マップ



不審者の判断が主観的
差別や人間不信を生む可能性

犯罪発生マップ



トラウマにつながる可能性

地域安全マップの授業の例

【授業の位置づけ】

社会科

総合的な学習の時間

**特別活動
(学級活動)**

各学校の年間計画
に応じて授業計画
を作成

地域安全マップの授業の例

【指導計画】

指導計画例

(7～9時間配当)

事前指導	1時間
事前学習	1時間
フィールドワーク	2時間
地図作成	2～3時間
発表会	1～2時間
事後指導	適時

地域安全マップの授業の例

(1) 事前指導

地域安全マップを知ろう

『地域安全マップ』はなぜ必要？

「危ない人」はどんな人？ … 容姿等で判断することはできない
「危ない〇〇」を考える … モノ、言葉etc ⇒ 「危ない場所」

危ない場所のキーワード

どんな場所が「見えにくい」「入りやすい」場所
犯罪の起こりそうな場所に行かないことが大切

マップの中にどんな情報を載せるか

何かあったら助けを求められることができるところ
(警察署、交番、こども110番の家、コンビニなど)

地域安全マップの授業の例

(2) - 1 事前学習

計画を立てよう

どの場所の地図を作るか

いくつかの候補をあげてもかまわない
学校や授業計画の都合で、予めコースを指定するのも可

班編成や役割分担の決定

班長，副班長，写真係，インタビュー係等の役割
自分自身の役割について確認する

キーワードの確認

「入りやすい」「見えにくい」の危ない場所

地域安全マップの授業の例

(2) - 2 事前学習

事前準備

班編成

子どもや学区の実態に応じて、5名～6名程度

補助員

最低各班1名、複数が望ましい。
学校職員, PTA, 地域の学校安全ボランティア等

研修・説明会

補助員に対する地域安全マップの
学習やフィールドワークのポイント等の打合せ

地域安全マップの授業の例

指導計画例

(7～9時間配当)

事前学習	1時間
事前指導	1時間
フィールドワーク	2時間
地図作製	2～3時間
発表会	1～2時間
事後指導	適時

地域安全マップの授業の例 (3) - 1 フィールドワーク

フィールドワーク

留意事項の徹底

- ✓ 帽子や目立つ腕章・タスキ等があれば身につける。
- ✓ 単独行動はしない。
- ✓ 紙バサミやボード等にメモ用紙や地図などをはさむと便利。
- ✓ 道路は走らず、交通事故に遭わないように交通安全に努める。
- ✓ 「入りやすい」、「見えにくい」かを話し合いながら、じっくり考える。
- ✓ 人の顔や家の中などは勝手に写真を撮れない。理由を話し、許可をとる。
- ✓ インタビューも、きちんと学校名と学年、氏名、インタビュー理由を話して行う。

地域安全マップの授業の例 (3) -2 フィールドワーク

フィールドワークの観点



地域安全マップの授業の例

指導計画例

(7～9時間配当)

事前学習	1時間
事前指導	1時間
フィールドワーク	2時間
地図作成	2～3時間
発表会	1～2時間
事後指導	適時

地域安全マップの授業の例 (4) 地図作成

指導例 地域安全マップづくりの実践

場所の状況がわかるイラストを貼る(書き込む)

フィールドワークで撮影した写真を貼る

コメント(意見・感想)を書き、写真に合わせて貼る



安全マップの紹介

N公園の安全マップ



まわりに見がたくさへありまふ
だからこの場所はまぶす
からまぶす場所です

おわりがまぶすさへまぶす
いすのまぶす場所はまぶす
にくい場所です

まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす



まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす

まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす

まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす




- ### 色のわけ方
- ...安全な場所
 - ...注意する場所
 - ...きけんな場所



まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす



まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす



まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす
まぶすまぶすまぶすまぶす

安全マップの紹介

N公園の青の部分



まわりにお家がたくさん
あります。
だからこの場所はまわり
から見やすい場所です。

まわりから
見えやすい



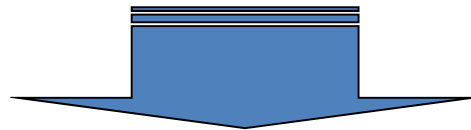
まわりがタイヤでかこまれて
いるのでこの場所は人の入り
にくい場所です

人が入りにくい



ゴミが落ちていませんでした。
きれいでした。だからこの場所
は人の関心がある場所
です。

人の関心が
ある



安全な場所

安全マップの紹介

T公園の安全マップ

- 色のわけ方
- ...安全な場所
 - ...少し注意する場所
 - ...きけんな場所



車やバイクは、歩行者の安全を脅かす危険な場所です。歩行者は、車やバイクの通行を避けるべき場所です。

入り口のそばに木がはえていて、木の影の下に人が入ることがあります。この場所は、人が入りやすい場所です。

公園に人が入ると、安全な場所になります。この場所は、人が入りにくい場所です。

この場所は、歩行者の安全を脅かす危険な場所です。歩行者は、この場所を避けるべき場所です。

この場所は、歩行者の安全を脅かす危険な場所です。歩行者は、この場所を避けるべき場所です。

ここは、歩行者の安全を脅かす危険な場所です。歩行者は、この場所を避けるべき場所です。

歩行者の安全を脅かす危険な場所です。歩行者は、この場所を避けるべき場所です。

この場所は、歩行者の安全を脅かす危険な場所です。歩行者は、この場所を避けるべき場所です。

この場所は、歩行者の安全を脅かす危険な場所です。歩行者は、この場所を避けるべき場所です。

安全マップの紹介

T公園の黄色の部分



草がはえていろいろが家が近くに何けんがあります。だから、この場所は、まわりから見えやすい場所です。

まわりから
見えやすい



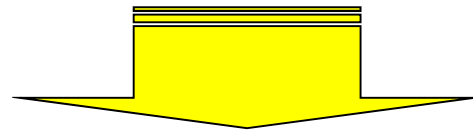
入り口のまん中に木がはえていて木のとなりに鉄のぼうが立っています。だからこの場所は人が入りにくい場所です。

人が入りにくい



遊具に人が傷く言葉がかいてあたり、ゴミもすてあります。だからこの場所は、人の関心のない場所です。

人の関心が
あまりない



少し注意が必要な場所

安全マップの紹介

N橋の下の安全マップ

(Cコース: 西ノ宮橋の下)

● ... 少し注意する場所
● ... きけんな場所

柱がたくさんあり、皆だんもあってまわりから見えにくい場所です。

いろいろな所に入口があり、入りやすい場所です。

ビンのガラスや大きな木のぼろがあったので、人の関心がない場所です。

たぐさんの程のような物があり、まわりから見にくい場所です。

さとうの近く、くさんのらくがきボロボロの関心がない場所です。

道が狭くてさくがわいて、どこからでも入りやすい場所です。

橋の下はのび、まわりから見えにくい場所です。

ガードレールがあつた高さがあるため、人が入りやすい場所です。

さぶとんや洋服が大きなゴミが落ちて、人の関心がない場所です。

安全マップの紹介

N橋の下の赤の部分



まわりから
見えにくい

人が入りやすい

人の関心が
ない

危険な場所

地域安全マップの授業の例

(5) 発表会

指導計画例

(7～9時間配当)

保護者、地域、関係機関、自治会等防犯に関係する方々を招いて発表する。



改善→自分の意見が取り入れられる。
防犯意識の向上へとつながる。

発表会	1～2時間
事後指導	適時

「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

事業概要

平成27年度からの文部科学省事業
モデル校を指定して、防犯教育の研究

- 1 防犯機関等の最新知見を取り入れた、学校と
地域が連携した安全を確保するシステムの構築



- ・科学警察研究所との連携による「聞き書きマップ」作り
をととした防犯教育

- 2 防犯への意識向上と地域の実態に応じた
防犯体制等の普及



- ・各研修、公開研究会等における発表等

「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

モデル校

平成27年度 柏市立十余二小学校

平成28年度 船橋市立西海神小学校



「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

居住地域ごとに 3学級編制で学習

デジタルカメラ

USBメモリー型
ICレコーダー

GPS受信機



「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

「GPS受信機」、「デジタルカメラ」
「ICレコーダー」を持って、フィールドワーク



GPS 受信機 ……歩いた経路を記録

デジタルカメラ……撮影時刻で撮影地点を自動的判定

ICレコーダー ……撮影時刻で音声を判定

「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

フィールドワーク



データの入力

「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

マップづくり・発表



「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

成 果

○児童の主体的な取組

- ・体験的学習、情報機器等の活用

○児童の危険予測能力、危険回避能力等の育成

- ・「入りやすく、見えにくい場所」、「子ども110番の家」等の確認
- ・「自分たちにできること」、「地域とどのように連携するか」

○地域とのコミュニケーション

- ・学校ボランティア等とのフィールドワーク
- ・地域の方へのインタビュー

○保護者や地域等の防犯意識向上

- ・身近な危険等の共通認識
- ・学校の取組みを知る(フィールドワーク、公開研究会)

「地域や関係機関と連携した 防犯教育公開事業」

課 題

○地域防犯力の向上

- ・地域・関係機関等との継続的な連携と強化
- ・地域及び関係機関等による危険箇所の改善

○教育手法の普及

- ・県内各研修会等における実践報告
- ・市町村との連携

地域安全マップ（防犯）の取組状況

平成27年度 学校安全強化月間の調査結果

質問項目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
学校数	129		694		326		146		32		1327	
以下の危険箇所マップ(児童生徒・学校・保護者・学校ボランティア等作成)を作成(既存のマップ再確認も含む)しましたか。(複数可)												
① 交通安全のマップを作成(再確認)した。	46	35.7%	610	87.9%	223	68.4%	75	51.4%	10	31.3%	964	72.8%
② 生活安全のマップを作成(再確認)した。	29	22.5%	404	58.2%	110	33.7%	19	13.0%	3	9.4%	565	42.6%
③ 災害安全のマップを作成(再確認)した。	26	20.2%	200	28.8%	98	30.1%	21	14.4%	6	18.8%	351	26.5%
④ 実施していない。	67	51.9%	27	3.9%	63	19.3%	31	21.2%	19	59.4%	207	15.6%

平成28年度 学校安全強化月間の調査結果

質問項目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
学校数	127		690		325		144		37		1323	
平成27年度、危険箇所マップ(学校職員・保護者・学校ボランティア・児童生徒等が作成)の作成及び活用、既存のマップの再確認をしましたか。(複数可)												
① 交通安全に関する危険箇所マップを作成(再確認)した	55	43.3%	603	87.4%	212	65.2%	56	38.9%	14	37.8%	940	71.1%
② 生活安全(防犯)に関する危険箇所マップを作成(再確認)した。	20	15.7%	392	56.8%	99	30.5%	26	18.1%	3	8.1%	540	40.8%
③ 災害安全(防災)に関する危険箇所マップを作成(再確認)した。	21	16.5%	186	27.0%	85	26.2%	28	19.4%	8	21.6%	328	24.8%
④ いずれの危険箇所マップも作成(再確認)していない。	61	48.0%	44	6.4%	75	23.1%	69	47.9%	19	51.4%	268	20.3%

防犯に係るマップづくり

42.6%(H26)



40.8%(H27)

地域安全マップ（防犯）の取組状況

子どもたちが不審者等による犯罪から身を守る知識や危険な場所を見極める力を養う

新規作成

- ・フィールドワーク
- ・話し合いによる作成

既存マップ 活用

- ・フィールドワーク
- ・学級活動等による危険箇所、回避方法などの学習

既存マップ 再確認

- ・フィールドワーク
- ・マップの内容確認
- ・必要に応じた修正

危険予測能力・回避能力